

第3期八戸ポータルミュージアム中期運営方針
－未来を創ろう 2030－

付属資料

はっち開館に伴うこれまでの実績や波及効果等

令和3年3月
八戸市



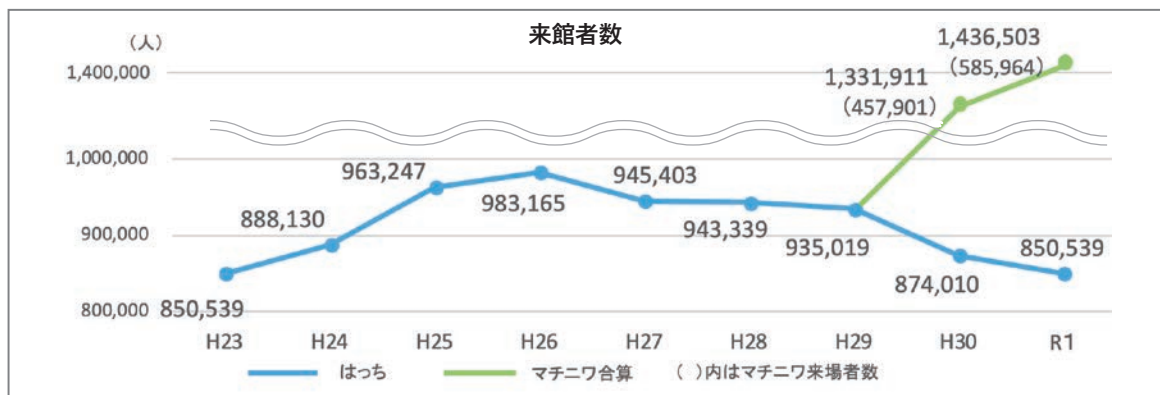
本資料は、はっちがこれまで行ってきたことや中心街及び当市に与えた影響など、はっちが開館したことによる効果について、さまざまな指標やこれまでの実績、市民や関係者からうかがったお話などをもとに検証したものです。

これらの効果をより高めていくとともに、新しい効果を生み出すことができるよう、第3期中期運営方針に沿った運営に取り組んでいきます。

● はっち 10 年間の実績 ●

▶ 来館者の推移

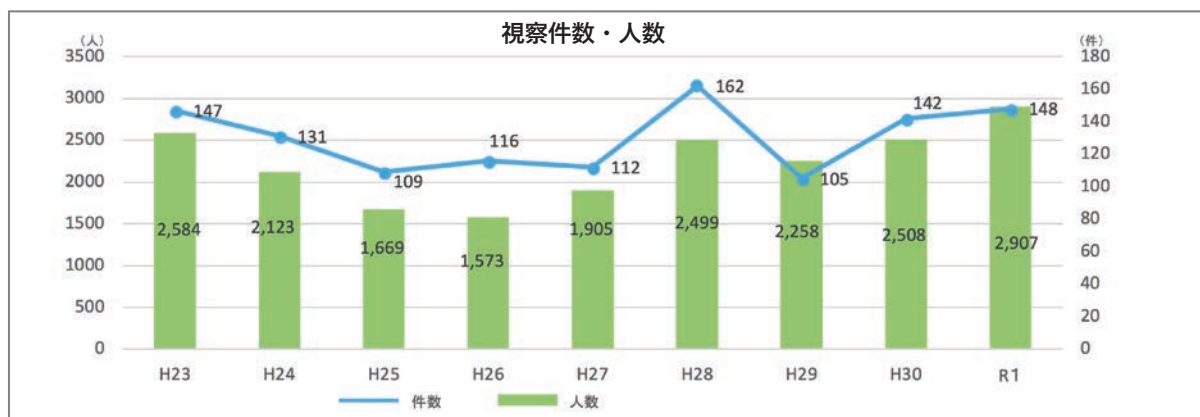
来館者数は開館当初の目標である年間65 万人を毎年上回り、開館以来800 万人以上の方がはっちを訪れ、中心街への集客に効果を上げています。**(開館から令和元年度末までのはっち来館者数 8,359,783人)**
平成30年7月には国道を挟んだ向かい側に八戸まちなか広場マチニワが整備され、その相乗効果により中心街への集客力が一層高まりました。



※マチニワの来場者数はWi-Fi機能がある人で5分以内の滞在者数を基にスマートフォン保有率で徐したものの。

▶ 視察の受入数

開館以来、はっちでは全国各地から数多くの視察を受け入れており、令和元年度末までの累計数は1,172件 20,026名となっています。視察件数は日経BP社による「全国自治体・視察件数ランキング2019」で11 位にランキングされる(2018年は27位)など、全国的な注目を集めており、八戸のブランド力向上につながっています。



▶ 受賞歴

はっちやはっちで実施された事業に関連して、これまで右表のようなさまざまな賞を受賞しており、各方面からはっちやその活動が高く評価されています。

受賞歴	賞名	受賞対象
平成 24 年	グッドデザイン賞	八戸レビュー
平成 25 年	グッドデザイン賞	市民が地域づくりに参画できる仕組みプロジェクト
平成 25 年	文化庁長官表彰	八戸市
平成 28 年	地域創造大賞	八戸ポータルミュージアム
平成 30 年	東北映像フェスティバル・映像コンテスト大賞	88 異国プロジェクト
平成 31 年	地域再生大賞北海道・東北ブロック賞	まちぐみ

▶ これまで実施された主なアートプログラム

はっちでは、これまで八戸の地域資源にこだわったさまざまなアートプロジェクトを実施してきました。その活動は、館内におさまらず、あらゆる地域へ出向いて行われてきました。はっちが行ってきた数々のアートプロジェクトは、市民が気軽にアートに触れる機会を創り出し、アートを身近なものとして体験する場を演出するとともに、アーティストの視点を通して、自分たちのまちのすばらしさを再認識する機会となりました。

事業名	参加アーティスト	内容	年度	参加人数
オープニングアートプロジェクト 八戸のうわさ	山本耕一郎	中心街各店で聞き出した自慢や武勇伝などを600以上の吹き出しとして各所に掲出	2010 ～ 2011	—
オープニングアートプロジェクト 踊りに行くぜ!!!	山田珠実、磯島未来 前納依里子、村山華子	公募によるダンサーの滞在制作による作品の公演	2010	—
オープニングアートプロジェクト 八戸レビュー	梅佳代、浅田政志 津藤秀雄	新進気鋭の3人の写真家が88組の市民を撮影した作品の展示やトークイベント	2010	30,714
デコトラヨイサー!	スー・ハイドウ	八戸が発祥の「デコトラ」をテーマに作品の滞在制作やデコトラなどの展示	2011	320
ヨコヲちゃんを探せ	竹本真紀	中心街に隠れたキャラクター「ヨコヲちゃん」を探して歩く企画	2011	2,916
酔っ払いに愛を ～横丁オンリーユーシアター～	斉藤栄治ほか 103 組	古くから残る路地と小さなお店が連なる中心街にある「横丁」を舞台に、ダンスや芝居などのパフォーマンスをハシゴして楽しむ企画	2009 ～	10,947
はっち流騎馬打毬	KOSUGE1-16	伝統武芸「加賀美流騎馬打毬」に着目した市民参加型企画	2012	689
八戸ビューティ 八戸ライトショー・フェスティバル	ゼロニウム	プロジェクトマッピングなどの映像作品を制作し公開	2013	657
八戸ビューティ BIG 南部裂織プロジェクト	工房「澄」井上澄子	来館者が少しずつ織った南部裂織をつなぎ、大きなタペストリーを制作	2013	500
八戸ビューティ ショートムービーズ	WINE studios、 light source film	八戸の「美」を可視化する映像制作	2013	500
ツール・ド・八戸	ポーワング	アーティストの視点でオモシロコースを自転車に乗って街歩きする企画	2013	1,553
まちぐみ	山本耕一郎	八戸で暮らす人々の「やってみたい!」をまちぐるみでサポートしてカタチにする企画	2014 ～	6,519
はっち魚ラボ	田附勝 ほか	八戸の魚食文化に多角的に迫ったプロジェクト。田附勝写真展「魚人」やデコトラ等を実施	2014 ～ 2015	2,060
ハチノへものがたり	SAMA・YAMA	陸奥湊魚菜市場に滞在し絵画と映像を制作	2014	—
はちのへごっこ「ハマネコ」	大島亜佐子	八戸の沿岸部を舞台にしたアニメーション作品を制作	2014	—
八戸ライトショー・フェスティバル	ゼロニウム、加藤直礼	市民参加企画からクリエイターの国際コンペまで音と光と映像にまつわる企画	2014	2,385
八戸ロマン時空探検隊	YORIKO	市民と結成した探検隊が、歴史に隠されたロマンとミステリーを追ったプログラム	2015	27
はっちヒカリアソビ 2016	ゼロニウム	プロジェクトマッピングや映像、ゲームなどのメディアアート作品の投影・展示	2015	2,010
DASHIJIN プロジェクト	土谷享、住中浩史 鎌田高広ほか 3 名	八戸三社大祭をめぐる人と人とのつながりや独自の造形美を、世代や立場を超えて、ユニーク造形とコミュニケーションを楽しむ企画	2016 ～ 2020	29,607
スケートアートプロジェクト 「堤にもどる」	深澤孝史	「氷都八戸」の歴史を掘り起こし、象徴である「勘太郎堤」の模型を制作し、市民の当時のスケートの思い出を収集	2016	413
フィールドミュージアム事業 「是川時空探検祭!」	YORIKO	是川縄文館とのコラボレーションで「縄文時代にタイムスリップ」をコンセプトに演劇や音楽などのコンテンツにより縄文文化を発信	2016	80
八戸市市制施行 88 周年記念 88 (やや) 異国プロジェクト	東北芸術工科大学	八戸市にあるやや異国情緒溢れるスポットを紹介する八戸PR映像を制作	2017	50
はっち8周年企画 大島亜佐子展「縫いものがたりたち」	大島亜佐子	2014年にアニメーションを滞在制作した大島亜佐子さんの作品展や縫い絵ワークショップを実施	2019	1,628
合計				93,575

※参加人数は、事業ごとにカウント方法が異なる

▶ はっちを卒業したスタッフ等の活躍

はっちのオープンに向けた準備やその後の企画や運営に携わり卒業していったコーディネーターは、はっちで培った経験を活かし、中心街においてアートやファッションに関する企業や、まちづくり・報道など多岐にわたる分野で活躍しています。

また、ものづくりスタジオに入居していた皆さんは、はっちを卒業後も営業を継続するなど、入居中に培ったノウハウを活かし、それぞれの分野で活躍されています。



ものづくりスタジオを卒業し活躍する作家さん

▶ 市民に寄り添い、親しまれる場所として

開館一か月後、東日本大震災が発生し、はっちは中心街で被災した市民や観光客のための臨時避難所になりました。周辺の飲食店から食料が差し入れられたり、避難者と協力して避難所を運営するなど市民と共にこの非常事態を乗り越えました。その後も、市民と一緒に開催した復興支援プロジェクトや数々のアートプログラムを通して、はっちから復興へ向けたメッセージを発信し続けました。

また、開館から10年が経過し、市民から寄せられたコメントによると、ものづくりスタジオでの作家さんとの触れ合いが工芸を学ぶ道へ進むきっかけになったり、知人との待ち合わせの場所となっていたり、県外の友人に必ず紹介する自慢の場所になっているなど、市民それぞれにとって思い出や愛着のある場になっている様子がうかがえます。



避難所となったはっちの様子



携帯電話の充電サービスを実施



復興支援プロジェクト

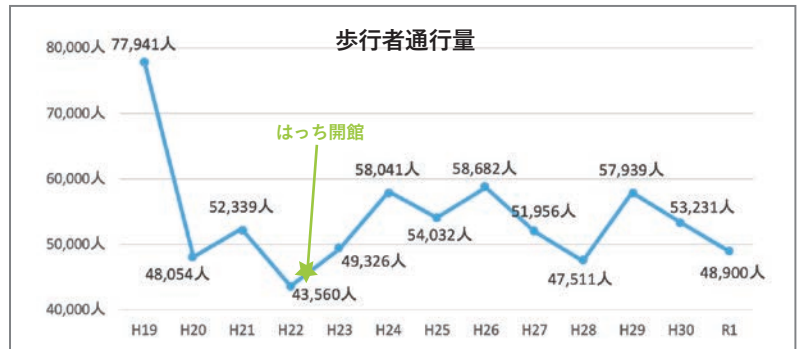


はっちひろばで思い思いに過ごす利用者

●開館に伴う中心街への波及効果●

▶ 中心街歩行者通行量

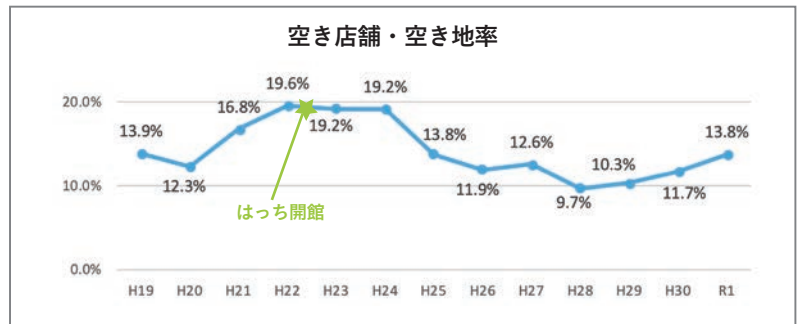
中心街の歩行者通行量は、相次ぐ商業ビルの閉店等により減少傾向でしたが、「はっち」の開館により前年度から増加し、以降もその状態を維持するなど中心街の歩行者の増加に効果がありました。



資料：八戸市中心商店街通行量調査（八戸商工会議所・八戸市）

▶ 空き店舗・空き地率

はっちが開館した平成23年以降、中心市街地の賑わい創出の効果により、新規出店者が増えたことで中心街の空き店舗・空き地率は改善しています。



資料：八戸市商店街空き店舗調査（八戸市）

▶ 地価の上昇

中心市街地の地価は、近年まで微減傾向が続いていましたが、はっちが立地している三日町の基準地価が平成29年度128,000円から、平成30年度130,000円、令和元年度132,000円と、2年連続上昇しました。（青森県地価調査結果より）

▶ 中心街の施設整備

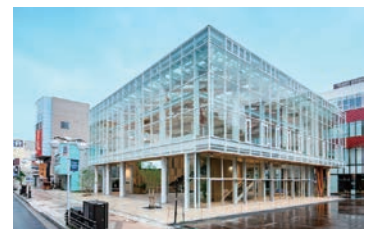
平成23年の「はっち」開館を契機として、平成28年には、オフィスや商業店舗の複合ビル「ガーデンテラス」が、その1階には公営書店「八戸ブックセンター」がオープンしました。

平成30年7月には隣接地に八戸まちなか広場「マチニワ」が開業、令和2年3月には花小路の整備が完了したほか、八戸市美術館が令和3年度開館予定となっているなど、中心市街地への公共施設の整備が着々と進んでいます。

また、民間事業についても、開館以降、中心街にIT企業が新規操業し、新規雇用が生まれているほか、新たなホテルや八日町の複合ビルの建設、アミューズメント施設のオープンなど、民間事業者による活発な投資が進んでいます。



六日町の複合ビル「ガーデンテラス」



はっち向かいの屋根付き広場「マチニワ」

▶ はっちの整備が民間投資へ与えた影響

中心街開発プロジェクトを推進した事業者の代表によると、市が中心市街地活性化基本計画のもと、はっちの整備などのまちづくりを積極的に進めていたことに刺激を受け、もともと中心街への愛着と民間事業者がやれることでまちづくりに貢献したいという思いが強かったこともあり、中心街へ投資する決断につながったとのこと。はっちを始めとした市の中心街活性化の取り組みが民間投資を呼び込む契機となったことがうかがえます。